

「酪農科学シンポジウム 2022」のご案内

2022 年度（令和 4 年度）酪農科学シンポジウムを下記の要領で開催させていただきます。多数の皆様にご出席いただきますようお願い申し上げます。

今回のシンポジウムは、乳・乳製品に関する基礎研究や技術開発の最新動向に加えて、地域を支え、酪農産業全体をつないでいく酪農科学研究として「地域連携に貢献する酪農科学研究」というテーマを企画いたしました。

シンポジウムでは、「北海道における酪農飼養形態と乳の品質との関連」と題する基調講演を北海道大学大学院農学研究院の三谷朋弘先生に行って頂きます。また招待講演では、次代のミルクサイエンスおよびその学際領域を担う産官学の研究者にご登壇頂き、ミルク・乳製品に関する基礎研究や技術開発の最新動向についてご講演を賜ります。ポスター発表では、「若手優秀ポスター賞」を設けます。今年度のシンポジウムではコロナ禍で若手研究者の学会参画意識を高めるため、35 歳以下の研究者が発表する場合、発表に係る印刷費用、旅費、宿泊費を半額補助することと致します。多数のご参加をお待ちしております。

なお、本シンポジウムは対面とオンラインによるハイブリッド方式としますが、新型コロナウイルス感染の拡大等によって緊急事態宣言または蔓延防止等重点措置発令時にはオンラインに切り替える可能性があります。

日本酪農科学会会長 浦島 匡（帯広畜産大学教授）
大会委員長 佐藤 薫（日本獣医生命科学大学）

◆2022 年度 酪農科学シンポジウム 2022

主テーマ：地域連携に貢献する酪農科学研究

主催：日本酪農科学会（JDSA）

日時：令和 4 年 9 月 9 日（金） 9：50～17：30（予定）

会場：日本獣医生命科学大学（東京都武蔵野市境南町 1-7-1）

プログラム：詳細は学会誌ミルクサイエンスの次号（第 71 巻第 2 号）で紹介予定。また、学会ホームページ（<http://www.jdta.or.jp/jdsa/>）でもご案内します。

○シンポジウム講演会場：日本獣医生命科学大学・B 棟 5 階 B511 教室

○ポスター会場：日本獣医生命科学大学・B 棟 5 階 B512 教室

○評議員会会場：日本獣医生命科学大学・B 棟 5 階 B513 教室

○シンポジウム参加費：無料

○情報交換会：無し

参加を希望する方は下記のサイトからお申し込みください。

お申し込みはこちら→ <https://formok.com/f/jhw731bu>

◆ポスター発表の募集（若手優秀ポスター賞の顕彰があります）

シンポジウム内ではポスター発表を行いますので、ふるってご応募ください。35歳未満の発表者で、優秀な発表をされた方には若手優秀ポスター賞が顕彰されます。内容はミルクサイエンスに関係する最近の知見であれば、既発表か未発表かは問いません。ただし、他の学協会での受賞または受賞内容は顕彰の対象外とします。発表希望者は、演題名・発表者名・所属・要旨(200字以内)を、タテ65cm、ヨコ14cmの枠内に入力した原稿(電子ファイル)を6月27日(月)までに実行委員会事務局 (e-mail: kaoru.sato@nvl.u.ac.jp) へお申し込み下さい。詳細は、学会ホームページ (<http://www.jdta.or.jp/jdsa/>) をご参照ください。なお、若手優秀ポスター賞顕彰を希望する発表者は、講演題目の前に星印(☆)を付けてお申し込み下さい。星印(☆)のある発表者が半額補助の対象者となります。

◆大会事務局：シンポジウムに関するお問い合わせ

- 〒180-8622 東京都武蔵野市境南町1-7-1
日本獣医生命科学大学 応用生命科学部食品科学科
庶務担当：三浦 孝之（准教授） e-mail: t-miura@nvl.u.ac.jp
- 〒0155-49-5229 北海道帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学、生命・食料科学研究部門、食品科学分野、食品機能学系
学会長：浦島 匡（教授） urashima@obihiro.ac.jp

◆アクセス

JR 中央線「武蔵境」駅南口より徒歩 2 分

■JR 中央線「武蔵境」駅が最寄り駅となります。

<https://www.nvlu.ac.jp/access/access.html/>

